

私たちにできること

かしわ し ところ しょうさつ し がいようばん
- 柏市心のバリアフリー小冊子概要版 -



1 それぞれの思い

障害を持っている人などの思い

ふつうに外出したい

- ・もっと自由に外出したい
- ・じろじろと見ないでほしい

まちなかでいろいろ手を貸してもらいたいけど

- ・なかなか声をかけづらい
- ・手を貸して欲しくないときもある

一般の通行人、お店の人などの思い

手を貸してもいいけど

- ・声をかけるタイミングが分からない
- ・手の貸し方が分からない など

声をかけない

- ・つい見て見ぬふりをしてしまう
- ・何か言われそう など



2 そんなすれ違いをなくすために

市民が中心となって、無理なく進めていけそうな取り組みを考えたところ、大きく次の3つの意見が出されました。

交流や理解を深める場所をつくろう

商店街での取り組みを考えよう

手伝って欲しい時のサインをつくろう



具体的なことは、今後市民が主体となった集まりを開き、その中で検討していくことになりました。

3

こんなこととして欲しい こんなことならできる



はじめの一步は「声かけ」から 手を貸してくださる人へ

困っている人を見かけたら、思い切って「何か手伝いましょうか」などと一声かけてください。



手を貸してもらいたい人へ

必要なときは「手を貸してください」と一声かけてみてください。手を貸したい人でも、声をかけるタイミングの分からない人がたくさんいらっしゃるようです。



あんな場面、こんな場面で

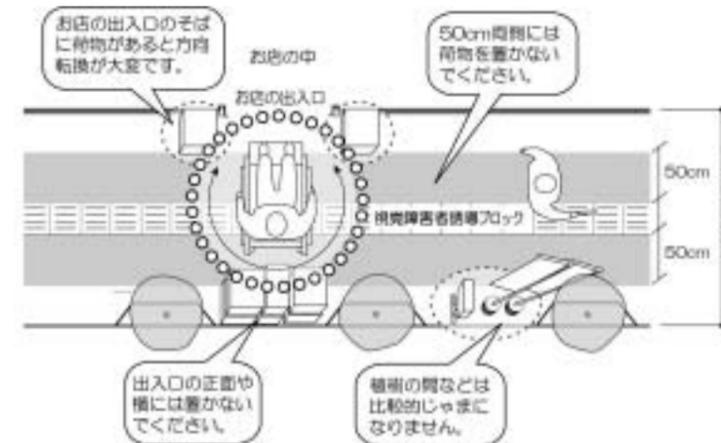
お店の前の商品や看板は気をつけてください 場面：お店の前で

商品や看板は歩道にはみ出さないようにしてください。お店の前に商品を並べる場合は、次のことに気をつけてください。

<お店の前で気をつけてほしいこと>



お店の前のじゃまになる置き方を確認しました。



かんたん みせ でいりぐち くふう
簡単でいいので、お店の出入口を工夫してもらえませんか

ばめん みせ でいりぐち
場面：お店の出入口

くるま りようしゃ め ふじゆう ひと みせ でいりぐち
車いす利用者や目の不自由な人は、お店の出入口に段差などがあると、とても困ります。

みせ でいりぐち と はす しき と
お店の出入口に取り外し式のスロープやマットを取り付けるだけで、ずいぶん入りやすくなるようです。



スロープとマットで入りやすくしている例(増尾)

こえ うりば あんない たす
声をかけたり、売場に案内していただくと助かります

ばめん みせ
場面：お店の中で

みせ なか くるま りようしゃ め
お店の中で車いす利用者や、目の不自由な人などを見かけたら、声をかけていただくと大変助かります。



かいだん だんさ ばしょ て か
階段や段差のある場所ではできるだけ手を貸してください

ばめん かいだん
場面：階段で

おうだん ほど うりば かいだん みせ
横断歩道、スロープ、階段、お店の出入口などの段差のある場所で、困ります。このような場面を見かけたら、あなたから声をかけ、手を貸してください。



せま ほどう じてんしゃ と しょうがいぶつ と のぞ
狭い歩道に自転車を止めないで 障害物はあなたも取り除いてください

ばめん ほどう
場面：歩道で

つうこう きけん
通行するのに危険ですので、狭い歩道上や視覚障害者誘導ブロックの近くには、自転車、荷物などは置かないでください。

もし、視覚障害者誘導ブロックの近くに障害物を見かけたら、あなたも取り除いてください。



みみ ふじゆう ひと みち き
耳の不自由な人に道を聞かれたら

ばめん
場面：まちなかで

じぶん しゅわ に
自分は手話ができないからと逃げないで、できる範囲でいいですので、最後までコミュニケーション(意思疎通)をとってください。



ここでまとめた「私たちにできること」は、障害を持っている人、お年寄り、募集した市民などが集まって、話し合ったり、体験をした時に出された意見、感じた言葉をまとめたものです。より詳しい内容を別の小冊子にまとめていますので、そちらと合わせてご覧ください。



かしわしこころ しょうさくしけんとうかい へいせい ねん がつきせいかい
柏市心のバリアフリー小冊子検討会 平成15年3月作成

れんらくさき かしわしきかくぶ きかくちょうせいか
連絡先：柏市企画部 企画調整課

〒277-8505 千葉県柏市柏5丁目10番1号

TEL 04-7167-1117 FAX 04-7167-6644